

◎医師の診断を受け、保護者が登園届を記入することが考えられる感染症

病名	潜伏期間	主要症状・感染しやすい期間	登園のめやす
麻疹 (はしか)	8～12日	発症初期は、高熱・咳・鼻汁・結膜充血・目ヤニ一時期熱下がるが再び上昇し、コプリック斑・その後顔や頭部の発疹。合併症（肺炎・中耳炎・脳炎） 発症1日から発疹出現後4日後まで。	解熱後3日経過していること
インフルエンザ	1～4日	突然の発熱・倦怠感・食欲不振・関節痛・筋肉痛・咽頭痛・鼻汁・咳 症状がある期間（発症前24時間から発病後3日程度までが最も感染力が強い）	発症した後5日を経過し、かつ解熱した後3日を経過していること 内服薬完了していること
新型コロナウイルス	5日	発熱、呼吸器症状、頭痛、倦怠感、消化器症状、鼻汁、味覚異常、嗅覚異常 発症2日前から発症後5日間の感染力が高い	発症した後5日を経過し、かつ症状が軽快した後、1日を経過すること
風しん	16～18日	発しんが顔や頭部に出現。約3日間で消える。発熱・リンパ腫脹、悪寒、倦怠感眼結膜充血。 発しん出現の7日前から7日後くらい	発しんが消失していること
水痘 (水ぼうそう)	14～16日	発しんが顔や頭部に出現し、全身へ拡大する。 発しん出現1～2日前から痂皮（かさぶた）形成まで	すべての発しんが痂皮（かさぶた）化していること
流行性耳下腺炎 (おたふくかぜ・ムンプス)	16～18日	発熱、唾液腺（耳下腺・顎下腺・舌下腺）の腫脹・疼痛。（片側だけの場合も） 発症3日前から耳下腺腫脹後4日	耳下腺、顎下腺、舌下腺の腫脹が発現してから5日経過し、かつ全身状態が良好になっていること
結核	3か月～数10年。	感染後2年以内、特に6か月以内に発病。慢性的な発熱・咳・疲れやすさ・食欲不振・顔色の悪さ。 喀痰の塗抹検査で陽性の間	医師により感染の恐れがないと認められていること
咽頭結膜熱 (プール熱)	2～14日	高熱・扁桃腺炎（咽頭痛）結膜炎（充血） 発熱・充血等の症状が出現した数日間	発熱、充血等の主な症状が消失した後2日経過していること
流行性角結膜炎	2～14日	目が充血し、まぶたが腫れ、目やにが出る。目に膜が張ることもある。 充血、目ヤニ等の症状が出現した数日間	結膜炎の症状が消失していること
百日咳	7～10日	特有の咳（コンコンと吹き込んだ後、ヒューという笛を吹くような音を立てて息を吸うもの）夜間にひどい咳き込み 抗菌薬を服用しない場合、咳出現後3週間を経過するまで	特有の咳が消失していること又は適正な抗菌物質製剤による5日間の治療が終了していること
腸管出血性大腸菌感染症 (O157.026.0111等)	10時間～6日 0157は 3～4日	水様下痢便・腹痛・血便 合併症（溶血性尿毒症候群・脳症） 便中に菌が排泄されている間	医師により感染の恐れがないと認められていること
急性出血性結膜炎	平均2時間又は2～3日	強い目の痛み、目の結膜（白眼の部分）の充血、眼結膜下の出血がみられる。 発症後1～2週間、便からは数週間から数カ月間	医師により感染の恐れがないと認められていること
侵出性髄膜炎菌感染症 (髄膜炎菌性髄膜炎)	4日以内	発熱・頭痛・嘔吐で急速に重症化する場合がある。 有効な治療を開始して24時間まで	医師により感染の恐れがないと認められていること
溶連菌感染症	2～5日	発熱・のどの痛み、腫れ、化膿・リンパ節炎・いちご舌 適切な抗菌薬治療を開始する前と開始後1日間	抗菌薬内服後24～48時間が経過していること
マイコプラズマ肺炎 (うつる肺炎)	2～3週	咳（徐々に激しくなる）・発熱・頭痛 中耳炎、発しんを伴うこともある。 適切な抗菌薬治療を開始する前と開始後数日間	発熱や激しい咳が治まっていること
手足口病	3～6日	発熱、のどの痛みを伴う口腔内の水疱、手足の末端、おしり等の水疱 手足や口腔内に水疱・潰瘍が発症した数日間	発熱や口腔内の水疱・潰瘍の影響がなく、普段の食事がとれること
伝染性紅斑 (リンゴ病)	4～14日	かゆみのある発疹が、主に顔・両頬・上肢・大腿部に出る 発しん出現前の1週間	全身状態が良いこと
ウイルス性胃腸炎・感染性胃腸炎・嘔吐下痢症 (おなかの風邪を含む) [ノロ・ロタ・アデノウイルス等]	12～48時間	嘔吐と下痢。 症状のある間と、症状消失後1週間（量は減少していくが数週間ウイルスを排出しているため注意が必要）	嘔吐・下痢等の症状が治まり普段の食事がとれること
ヘルパンギーナ	3～6日	高熱・咽頭痛、ときに頭痛・腹痛があり、のどに小水泡・小潰瘍ができる 急性期の数日間（便の中に1か月程度ウイルスを排出しているため注意が必要）	発熱や口腔内の水疱・潰瘍の影響がなく、普段の食事がとれること
RSウイルス感染症	4～6日	発熱・咳・鼻汁・喘息・呼吸困難 呼吸器症状のある間	呼吸症状が消失し、全身状態が良いこと
帯状疱疹	不定	軽度の痛みや違和感その後、多数の水疱、紅斑。（神経の走行に沿って身体の片側に発症） 水疱を形成している間	すべての発しんが痂皮（かさぶた）化していること
突発性発しん	9～10日	生後6か月～2歳にみられる。 突然、39℃～40℃の高熱が3～4日続き、解熱するとともに発疹が全身に現れる	解熱し機嫌が良く全身状態が良いこと